

防災をもっと身近に…YPLレビュー

 守りたい 守れる力
Wishing for Your Safety



2017
No. 198
清秋号

さあ、次の100年へ。
Here's to Another Hundred

100th
Anniversary

ヤマトプロテックは、総合防災メーカーとして、
「かけがえのない人命と財産を守りたい」という思いを掲げ、
永年にわたり防災事業に携わってきました。
これからも皆さまの信頼にお応えできるよう、
安全な社会づくりに貢献していきます。

Yamagajin (通巻198号) 2017年10月20日発行 [企画制作] ヤマトプロテック株式会社 Yamagajin編集室 〒108-0071 東京都港区白金台5-17-2
ホームページ <http://www.yamatoprotec.co.jp>

非売品

※この冊子は、再生紙を使用しています。

台風への備えから、大切なものが見えてくる。

涼しい風に暑さのやわらぎを感じる今日この頃、皆さん健やかにお過ごしでしょうか？

熱帯夜の寝苦しさから解放され、ホッとしていの方も多いのではないのでしょうか。屋外で気持ちよく過ごせる気候の秋は、アクティブに活動したくなる季節ですが、9月10月は台風シーズンでもあるため休日の天候が気になります。

ところで、台風とハリケーン、サイクロンの違いをご存知ですか？実はこれらはすべて、強い勢力を持った熱帯低気圧のこと。その存在する場所によって呼び方が変わります。台風は、北西太平洋または南シナ海（赤道より北で、東経180度より西の領域）にある熱帯低気圧のうち、最大風速が約17m/s以上のものを呼びます。ハリケーンは、太平洋（赤道より北で、東経180度より東の領域）または大西洋にある熱帯低気圧のうち、最大風速が約33m/s以上のもの。サイクロンは、インド洋または南太平洋にある熱帯低気圧のうち、最大風速が約17m/s以上ものことです。

台風には「夏台風」と「秋台風」があり

ますが、秋台風は夏台風に比べて速度が速く、日本列島を直撃することが多いため注意が必要です。近年でも大きな被害をもたらした台風は、9月10日に訪れる秋台風でした。台風を避けることはできませんが、事前の備えで被害を軽減することは可能です。強風を伴う台風では、ベランダや庭など家の周りの物が飛ばされて窓ガラスが割れる恐れもあるので、植木や物干し竿などは事前に室内に取り込むようにしましょう。また、浸水による被害の恐れがある場合は、貴重品を2階や部屋の高い位置に移動させておくことも忘れずに。被害が大きい場合は、停電が起きたり室内から出られないこともあるため、懐中電灯、水、非常食などの防災用品をあらかじめ用意しておくことも大切です。

「もしも災害が起こったら」と想像して、避難するときに持ち出したいものについて考えると、自分にとって大切なものは何かが見えてくるかもしれませんね。

それでは、Yまがじん・秋号をお楽しみください。

CONTENTS

- 01 YP-Message
台風への備えから、大切なものが見えてくる。
- 03 ヤマトプロテック100周年記念企画/Vol.9
日本の防災と消防
- 05 製品紹介
樹脂配管システム
- 07 製品紹介
流水検知装置(湿式 作動弁型)『YAVS型』
- 08 ニュースプラス1
ヤマトプロテックが防災用のIoTサービスをスタート。
- 09 タウンスクエア
なぜ日本の水害は、
一拳に70人もの人が死ななきゃならないのか？
- 11 防災アラカルト
こんにちは！「上野山 巳喜彦さん」です！
- 13 製品紹介
エアロゾル消火装置『K/SMOKE』
- 14 製品紹介
機械泡消火器 車載式『YVF-20』
ニュースプラス2
ヤマトプロテック ドンナイ ホーチミン事務所移転のお知らせ
- 15 ニュースプラス3
●不要な消火器等を回収しています。
●エアゾール式簡易消火具の廃棄処分にご協力ください。
- 16 南久美子のほっ!とワールド
- 17 VOICE MAIL
- 18 Quiz Y-Town

日本の防災と消防

YP100周年記念事業 編集室

第十話 東日本大震災勃発!

ひとつの企業が、その社運をかけて最新機能を具備した研究所を立ち上げることは、かなり冒険的な側面をもつものだと思うのだが、どうか。防災安全事業に携わる企業は、それなりの将来性を見据えた経営戦略を持たなくてはならないが、それはかなり“あいまい”なものを対象とするからである。

例えば現代、もっとも具体性を帯びた巨大災害とされる南海トラフを震源とする地震にしても、それがいついかなる場所で勃発するかは誰にもわからない。南海トラフというからには、駿河湾沖から九州最南端までの太平洋岸の何れかだろう……程度しか専門学者でさえ分かってはいないのだ。そのきわめて不確かなクライシスの襲来を予期して、なぜ社運をかけてまで中央研究所を立ち上げなければならなかったか。

答えのひとつは簡単にきた。まず、どんな場合に立ち至っても、必要な人員スタッフが即座に確保できる要衝が欠かせないこと。次にその仮説の中核とも言える場所に、素早くヤマトプロテックにとっての、重要不可欠の人員を集めなければならない。それこそが火急の緊急課題であった。

前号、長々と中央研究所の立ち上げについて既述したのはそのためである。なぜなら、まるで中央研究所の竣工を待ってたかのように、わが国を震撼させる大災害が東日本を襲うこととなる。平成23(2011)年東北地方太平洋沖地震＝東日本大震災の勃発である。3月11日午後2時46分、東北地方一帯は太平洋側からの猛烈

な津波に襲われ、福島県に至っては前例のない原子力発電所の破壊活動に結びついた。驚天動地の一大事出来である。

実はこの日、社長と専務は生産事業に関する勉強会が都内のホテル地下大会議室であり、そのため朝からそれに出席していた。トップの留守を狙ったような大きすぎる自然災害である。業務はその日の後半が始まったばかり。全社員が日常業務に就いており、かたちとしてはそれらが一挙に喪われ、社員は一樣に途方にくれることになる。

社長たちにとってもそれは同様であった。震源地であるらしい宮城、福島県沖の震源地一帯とおぼしい地域の情報が、出席者のすべてに分かっていないらしいのだ。

ひとつの事例を挙げてみる。なんと誰もが携帯電話しか所有しておらず、地震発生と同時に使用不能に陥ってしまった。出席していた日本を代表する有名企業のトップが、一時的とはいえ情報の飛びかわらない世界に叩き込まれたのだ。

ここで一躍思わぬ能力を発揮したのが、こういふときもあろうかと懐深く持っていたテレホンカードであった。ケイタイが使えない場合に、とっさにテレホンカードによる日常会話に切り替えられる機能を一瞬思い出すのも才能と言えるが、それを即座に切り替えてみせるのも才能である。何人もの企業のトップにテレホンカードを使っていたのだ。

第十一話

晴れ行く大空・創業100周年のひとつの嶺

東日本大震災は、当然のことながらまだ終わってはいない。万を数える犠牲者も、波間に消えた太平洋側東北の、美しい景色や生活習慣も還ってきてはいない。ヤマトプロテック株式会社としても数多くの営業支店を一時に喪い、従業員家族の中からも犠牲者を出している。このことを社長自ら忘れることはない。

この中央研究所を何が何でもの気概で全社員一丸となって仕上げたのには、まさにここにその神髄があった。いざというとき、そこに再出発の起点があり、万古不変の存在感を持って屹立して貫わなくてはならない。そのことをまず意識の底に沈める。

創業以来約100年の実績は、こと防災事業として長いのか短いのか。われわれ防災の世界は、有史の世代から近い将来の巨大規模自然災害から、人智の及ばない科学兵器による災害まで、今やその限界さえ危ういという見方さえされ始めている。これを若い諸君は忘れて貰っては困るのだ。

今、僅か100年の歴史だと言ったが、その裏にはこれだけの事実の重みがあるのだ。高が百年。然れど、今後展開されるであろう100年は、未知と過去を引き継いだまったく新たな100年だと思っ貰わなければ困る。新しいヤマトプロテック株式会社の将来と、そこに集う者すべての命運はそこに係っているのだ。

スプリンクラー設備の配管工事を省力化する樹脂配管システム。

樹脂配管システムは、鋼管によるスプリンクラー設備の配管に代わる新システムとして開発されました。最大の特長は、配管を自由に曲げられることです。そのため配管工事を大幅に省力化することができ、大規模なスプリンクラー設備においては、特に高い評価を得ています。もちろん、住宅用スプリンクラー設備でも広く活用されています。



樹脂配管の特長

自由に曲げられる(可とう性)

- 樹脂配管は曲げることができるため、エルボが不要で部材費を軽減できます。
- 従来の鋼管のように厳密な寸法取りが不要で、10m以下の巻き出し管は支持も不要なので、施工が簡単です。
- 部材のたわみが、優れた耐震性につながります。

軽量 / 高い耐腐食性

- 樹脂管の重量は、20AはSGP25Aの1/10、16AはSGP25Aの1/15という軽さです。
- 軽量なので運搬が容易で、重量物運搬設備も不要です。
- 軽量で曲げられるためプレハブ加工が可能。工期短縮と設備のグレードアップを図れます。
- 酸化・電食による腐食はまったくありません。
- 腐食・異物付着による配管閉鎖が起こりません。



消防庁告示に基づく認定品

- 「エルメックス-SP」の管および継手は、平成13年消防庁告示第19号に基づき、(一財)日本消防設備安全センターより認定を取得しています。

認定内容と適用範囲

型式記号	認定番号	適用消火設備	口径	主な用途
エルメックス-SP	PL-001-2号	スプリンクラー設備 (湿式・乾式)	16A、25A(管・継手)	共同住宅 グループホーム
エルメックスS-SP30	PL-002-2号		30、40A(ヘッダー)	
エルメックス-SPT	PL-014-1号	水噴霧消火設備 (湿式・乾式)	20A(管・継手)	一般建築
エルメックスS-SPT	PL-015-1号		40、50A(ヘッダー)	

樹脂配管の使用条件

- 湿式スプリンクラー設備・乾式スプリンクラー設備に使用します。
- アラーム弁2次側以降の横引き配管からスプリンクラー巻き出し配管部とします。
- 準燃材仕上げの天井内隠ぺい部に配管することができます。
- 最高使用圧力は1.0MPaです。
- 最少曲げ半径は8D(130mm)です。
- 巻き出し管(10mまで)の支持は不要です。

一般建築向けのパイプ・継手は消防庁告示の軽易耐熱性試験に合格。オフィスビルやショッピングセンターなどの大空間で、天井に開口部がある場合でも使用できます。また、改修工事などでパイプの支持固定が困難な場合には、「10m以下の巻き出しでは基本的に支持固定不要」の認定が威力を発揮。特に、狭い空間や曲面のある天井では、パイプの可とう性が設計の自由度を広げます。

共同住宅用

- スプリンクラー作動時の水損を軽減するため、各住戸ごとに自動警報弁と制御弁(止水弁)を設けています。
- 火災が発生したとき、いち早く作動して効率的な消火を行うため、速動・少量型の小区画型ヘッドを採用しています。
- スプリンクラーの作動信号と連動して、音声による火災警報を発生します。



コストメリット

樹脂配管は住戸の天井内に横引き施工ができ、SGP配管より省力化がはかれます。

スプリンクラーヘッド(小区画型)

一般ビル・店舗用

- ヘッダー工法は80Lヘッドは20mm、50Lヘッドは16mm(ホテル:客室、病院:病室)の樹脂配管を使用します。
- ループ配管との組み合わせにより、大幅な施工の効率化がはかれます。
- 施工図はループ配管までよく、ヘッダー以降は省略できます。また、可とう性の利点を生かしヘッドの位置決めが容易です。

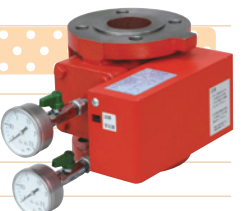


コストメリット

天井内横引き施工できます。ループ配管(SGP)との組み合わせでは、SGP配管よりコストダウンがはかれます。

共同住宅用流水検知装置『YAV-40AII』

- 小型軽量で施工性に優れ、設置スペースを最小限抑えられます。
- 閉鎖型スプリンクラーヘッドが開放した時の流水により弁体が大きく動いて配管内の流水を検知し、作動信号を発生。漏水による微小な弁の動きは、作動とみなしません。
- 試験排水弁は、排水と作動試験弁の2つの機能を持っています。
- 試験時の通水による流水信号をコントロールするための試験スイッチを備えています。
- 制御弁の開閉状態を判別するために出力スイッチを備えています。



型式番号	流第29~8号
使用圧力範囲	0.15~1.4MPa
最大水量	350L/min
全高	15.9cm

軽量化により施工性大幅アップ! 流水検知装置(湿式 作動弁型)『YAVS型』好評発売中。

非火災警報の発生と漏水リスクを軽減した流水検知装置(湿式 作動弁型)『YAVS』が、ご好評を得ています。『YAVS』は、メンテナンスが容易で非火災警報の発生を抑制できる作動弁を採用しているのが特長です。また、流水検知装置の技術上の規格を定める省令による試験にも合格した製品です。スプリンクラー設備には、ぜひご活用ください。

ここがスゴイ!

◆軽量化で施工性が向上

当社従来品(100A)よりも、質量が5kg軽減。施工性が大幅に向上しました。

◆漏水リスクが低く、メンテナンスが簡単

回転軸はOリングでシールするので、パドル式のような漏水リスクを低減します。また、作動確認が簡単でメンテナンスが容易です。

◆非火災警報の発生を抑制

排水配管からの逆圧による非火災警報が発生しづらい、作動弁を採用した構造です。



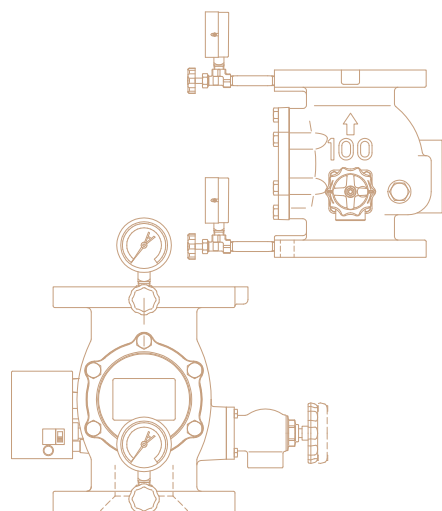
100A



65A



80A



型 式	YAVS-65A	YAVS-80A	YAVS-100A
型 式 番 号	流第29~10号	流第29~9号	流第29~11号
最 大 水 量	900L/min	1,350L/min	2,100L/min
作動弁型	呼び圧力	10K	
	取付方向	縦	
	使用圧力範囲	0.15~1.4MPa	
	検知流量定数	35・50・60(併用型)	
タイマー スイッチ	不作動流量	18L/min 以下	
	接点容量	AC 250V・2A	DC 30V・2A
	遅延時間	約5~25秒	

ヤマトプロテックが 防災用のIoTサービスをスタート。

今秋
開始

ヤマトプロテックは、岩崎通信機器株式会社と共同で防災向けのIoTサービスを構築。住宅用火災警報器をネットワークでつなぎ、火災発生を素早く広範囲に伝達することで、皆様に安心できる快適な暮らしを提供します。



活用法

賃貸不動産の簡易セキュリティ

外出先から自宅ドアの開閉状態や照明の状態を確認できます。また、不在時に誰かが部屋へ侵入した場合も検知可能。万一、火災が発生した際も素早く通知して初動消火活動を迅速に行うことができます。

在宅高齢者の見守り

遠く離れた場所で暮らす高齢の親をさり気なく見守ることができます。万一、火災が発生した際も素早く通知して初動消火活動を迅速に行い、逃げ後れを予防します。

なぜ日本の水害は、一挙に70人もの人が
死ななきゃならないのか？

新坂 理一郎 (フリーライター)

「日本災害史」が語るもの

災害研究者である北原系子氏の著作『日本災害史』(吉川弘文館)によると、氏は古代から日本の災害を飢饉、地震、噴火、津波、台風、洪水、高潮と分類されていることが分かった。今更、北原氏のわが国災害史にケチをつける人はいないと思うが、トップに「饑饉」がきていることに、意外な側面を感じた人も少なかったに違いない。だが、日本列島の多くが、徳川幕府による全国統一をみるまでは、小部落単位の開発が主な領土拡張になっていたから、トップに飢饉が据えられたことはやむを得ない、つまりここには、その地域が飢饉に陥って、一村一集落の浮沈こそが「災害」の原点にならざるを得なかったのだ。つまり、その地が飢えることで集落の歴史は終わり。災害とはそれで終了していたことになる。

18世紀の初頭(将軍は五代綱吉)に、あの有名な富士山の宝永大噴火が起こり、江戸幕府として対応しなければならなかった自然大災害は、30余年間を要してやっと終結した。要は一村すべてが飢饉によって全廃すると言った極端な例が少なくなった。代わって代表的になっていくのが、地震、噴火、台風といった人智では如何ともし難い森羅万象へと移っていく。このあたりの推移は当然でもあった。

人々が幕藩態勢でひとつの治安世界に置かれたとき、各藩で共通して選ばれた富国施策は押し並べて「治山治水」であったと言ってよい。あてがわれた地勢や田畑を守るには、治山と治水の功を上げる以外にこれといった知恵が湧くはずもない。

治山の基本は「里山」の管理にあった。造林や大規模な造山、新規模開発による新田開発と言った領地の新たな確保が幕府に許されなかった以上、従来からあるものを優遇せずにはいられない。里山への尊崇基盤が故郷愛護の最前提であったことは疑いもなく、これが近世までつづいた日本人の土地尊崇の理念であった。

明治時代の到来は、わが国を富国強兵化することで、一挙に世界の強大国に祭り上げることにあったが、肝心の土地を持たない島国であった点でそれが適わなかった。大東亜共栄圏の夢が破れる間までに、わが国がとり得た方策は、縦長でしかも急峻な国土を縦に使った造林増殖しかなかった。



わが国の造林には人手が要った

造林作業とは、とかく人手を食うものである。間伐から始まって枝おろしや樹間の管理が欠かせない。樹間を適正に管理することで樹根は生きる。正確な樹間が確保され樹木らは健全に育つ。

それに至る里山の管理に人々は長けていた。本来が里山をひとつの集落単位として成り立っていたような往時の鎮守信仰は、そのままひとつの集落であり、人々はそれに従って生きておれば良かった。里山に至る樹間を整備し、今述べた造林に至る管理こそがひとつの集落にとって「治山治水」の原則であり、単位であった。

今はどうか?かつての里山であって、一昔前まで子供らの喚声が渦巻いていた地域は残っているか?里山を巡る一周道路が整然と草刈りされ、しかも里山の蔓草を払って里山がかつての里山としての威厳を保っているか?すべてに涉ってノーの声が聞こえそうだ。

ここで、今『水害』という現象について考えてみよう。かつての里山住人と違って、今のわれわれは好むと好まざると、好きな土地で暮らし、それをとりまく地理水利ともほぼ無縁である。川に属する住民であるとの観念がまるでないのだ。その結果が、川という日常不変の地理を忘れさせ、いまどこに住んでいるかの存在感も時に狂わせる。それを殆ど忘れた山川の管理者も地方自治体の責任者として、応々に存在する。

たとえば平成23年の紀伊半島大水害。同年発生 of 東日本大震災にお株を奪われてはいるけれど、荒れ川と名高い熊野川流域の名だたる集落が消えてしまったし、那智川流域の荒廃は手つかずのまま放り出してあるところも多い。70数人が死亡・行方不明になり、消えたままの集落が



今もって残る。これなど明かな公的気象情報の欠落であり、住民の油断と断じて良い災害であった。

また、3年前に起こった広島市の土砂災害はどう解釈すべきだろうか。安佐南区、北区に跨がった新興住宅地の有りようについて、深く知る者は皆無に近かったし、地元の区役所職員で、深夜の水害情報に対応し、緊急避難所の鍵を管理する者もいなかった。結果、どういうわけか、たったひとりで70数人をあの世に送ってしまった。広島市それ自身が緊急対応に遅れ気味で、そのこと自体があり得ない事実と疑われた。しごくもつともな反応と思えたがどうだったか?

2年後に起こった茨城県から北海道の主要河川氾濫事案にしても、県や道の河川管理者それ自体が、もはや「河川」に関しての知識や観念をまるで有しておらず、これでは緊急事態発生時における河川管理者の資格は有しないのと同じだ。

この6月から引き続き日本各地の水害と称する河川の氾濫事故を見ても、そこに有るのは剥き出しになった細い新材木のやまばかりである。つまり、すでに日本の山々は、人手と豊穡な基礎根元を喪った、誰もが知らない死の山といっても良い情況に追いやられている。すでに日本列島の河川というのは、そこに住んでいることも怪しい人たちにとって、誰ひとりわが川という実感はないのかもしれない。

「上野山 巳喜彦さん」です!



一人で郷土災害史を編纂

新宮市(しんぐうし)というこ、地元の人はいざ知らず、和歌山県=紀国に属するのか、三重県=伊勢国に属するのか。一瞬の迷いがある。確か、熊野川という大河が県境を流れていて、那智の滝だとか熊野大社。そのむかしの熊野古道などと聞くと、一瞬訳が分からなくなったりする。

これが滔々と流れ下って豊饒の海、熊野灘に出てくると、人々はほっとため息を漏らすに違いない。なんと豊かな風景と、優れて美しい海岸の線がここに飛び込んでくる。そう、晴れた日の熊野灘一帯は優れて快適な海岸美がつづく。

新宮市。もちろん和歌山県最東部に位置し、熊野川に沿った由緒ある地名だ。その北を流れる熊野川と言えば、名にし負う荒れ川として有名であり、この川の歴史を書いただけで十分な量に達する。ここに近年、一人で郷土に関して有史以来の記録に残るすべての災害を網羅する勢いで、災害史誌を書き上げた人がいるという。これは一大事だと思う。長駆大阪から駆けて行っておはなしを聞くには「防災の日」も近い今がよいタイミングだ。

最初はねえ、たいそうに考えていなかったんですよ。……上野山さんは、懐かしそうな口調で切り出した。「40年近く新宮市の職員として務める中で長く総務部に属し、防災行政に関わりました。また市長秘書として災害対応を進言したり、防災担当理事として現場の指揮をとるなかで、気づいたことがあります。それは当市には過去の災害の教訓の蓄積が非常に少ないことです。先輩諸氏の経験を含めての4、50年の災害知見と全国の大災害とそれについての著名学者などの論説などを読み知っただけでの災害対応は非常に心許ないものがあります。本来災害対策は、100年、300年、500年という長いスパンでの地元の災害の歴史と地域特性を踏まえた上で、街づくりとリンクして考えないと、底の浅い場当たり的なものになってしまうのではないかと懸念を持ちました。

防災・減災は「過去に学び、現在を点検し、未来に備える」ことが基本と言われますが、肝心の過去に学ぶ適切なテキストがないため、最初の段階で躓いてしまっているのが現実でした(これは新宮市



だけでなく、全国共通のようです)。同僚との話し合いや市民啓発の現場の中で、国の想定するいわゆる南海トラフ地震について、過去の南海地震の当地の被害を知っているのと知らないのでは関心度が非常に違うということを感じました。そこで地震に限らず、地元のあらゆる災害の歴史を調べて、それを市の職員はもちろん、多くの市民の方と共有する必要があるのではないかと考えたのです。」

自分がやろう

新宮市の自然災害=地震、風水害、大火と簡単に言っても、有史以来新宮と名のつくところ、熊野川流域のそれなど記録や伝承に残っているものは2千年を超える量に達しそうだ。必要だと感じながらもやる人がなかった事業。退職したら自分がやろうと思った。

手当たり次第とって良かった。新宮と地名がつけば何でも揃えていった。新宮に大きな被害をもたらした災害の記録、昭和平成に至っては、住民たちの記憶や、実際に体験した人も多く残っており、これらの体験記、実話の類いは積極的に取り込んだ。伝手から伝手を探して、聞き取り調査を依頼した人も200人を超えるまでになっていた。過去2千年間の災害記録が、やっとではあるが、かたちを整えて眼前に並んできたのだ。

やっと一通りのひとつ在所の災害史が陽の目を見ようとしている。当初は100ページくらいのものを考えていたが、現在の災害における被災者の生の声を記録することも大事と考えたため、結果的には

B5判で400ページを超えるものになったという。200部自費出版し、新宮市内の国・県の災関係機関や図書館、高校また、隣接の東牟婁郡や地理的に縁の深い三重県の南牟婁郡の行政機関などにも配布されている。

災害対策講座「減災カフェ」定期開催

また地域の災害の歴史と絡めながら、災害対策に実際に役に立つ知識「実用減災学」を多くの方と共有するため、定例的に街中の喫茶店を借りて、『新宮市災害史誌』をベースにした災害対策講座「減災カフェ」を開催している。

「地域のことは、地域で解決に向けての知恵を結集しなければ。でも過去の災害を知らないと浅知恵になりかねない。一人でも多くの人に読んでいただき、過去に学んで欲しいですね。」上野山さんは淡々と語る。

一見さり気なく隣にいたかに見える、その目の色に力が籠もるとき、あ、この人新しい地域防災のこと何か考えているな……と考えていたのは、取材記者だけだったろうか?



製品紹介

環境・人体にほぼ無害な煙で瞬時に消火。 エアロゾル消火装置『K/SMOKE』

『K/SMOKE』は、消火成分を煙で放出して化学反応によって瞬時に燃焼を抑制する画期的な消火装置です。手の平サイズの軽量・小型設計で狭い場所にも取り付けやすく、少量の薬剤で確実に消火するため使用後の清掃が簡単なのも大きな魅力です。



※写真はイメージです。

K/SMOKE

ここがスゴイ!

◆少量の薬剤で強力消火!

二酸化炭素を主成分とする消火システムの1/10以下の薬剤量で、同等の消火力を実現します。

◆油・電気火災に強い!

瞬時に消火するので油火災に威力を発揮。導電性がないため電気火災への使用も安心です。

◆消火後の復旧が簡単。

少量の薬剤で確実に消火するため、一般的な粉末・泡消火剤と比べて残留物が極めて少なく、使用後の清掃が簡単です。

◆配管作業不要!

面倒な配管作業が不要な、薬剤とノズルの一体設計。専用ホルダーを使えば設置場所に穴をあけ、ネジ止めして制御盤と配線するだけで簡単に取り付けできます。

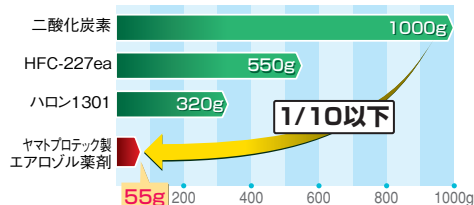
◆コンパクト設計。

薬剤量が少ないので、本体は軽く手のひらに乗るコンパクトサイズ。

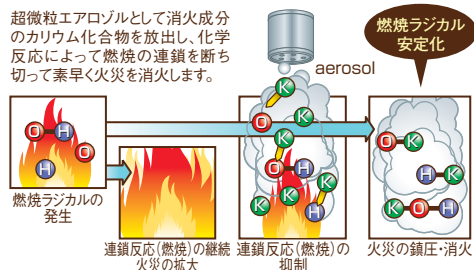
◆環境にも人体にも安全。

エアロゾルは、フッ素化合物を含まずオゾン破壊係数ゼロ。環境や人体に悪影響のある成分も放出されませんので安心してご使用いただけます。

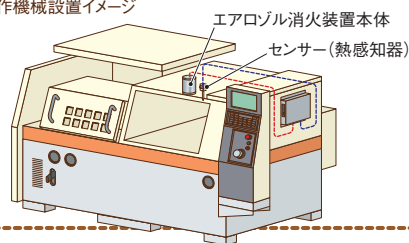
●防護空間1m³の消火に必要な薬剤量(全域放出方式 g/m³)



消火のメカニズム



●工作機械設置イメージ



製品紹介

機械泡消火器“YVF”シリーズの 車載式20型『YVF-20』を新発売!

新発売!

業務用の機械泡(水成膜)消火器『YVF』シリーズに、新しく車載式20型が仲間入りしました。

『YVF-20』は界面活性剤を主成分とし、耐アルコール性を高めた薬剤を使用して油火災の消火に特化したAB火災対応消火器。バイオエタノール(ETBE)混合ガソリン(E3)等のアルコール配合燃料火災の消火能力にも優れた力を発揮します。

ここがスゴイ!

◆NON-PFOS

YVFシリーズは、国際的に規制が進んでいる有機フッ素化合物(PFOS類)を含有していません。

◆ETBE/E3(エタノール混合ガソリン)

ガソリンにエタノール(エチルアルコール)を一定量混ぜた自動車燃料で、エタノールの混合割合が3%のものをE3ガソリンといいます。

◆おすすめの設置場所

危険物取扱所、ガソリンスタンド、地下街など。



	YVF-20
総質量	約39.7kg
薬剤量	20L
全高	約90cm



ヤマトプロテック ホーチミン事務所移転のお知らせ。

8月1日に、ベトナムにあるヤマトプロテックのホーチミン事務所『YAMATO PROTEC (DONGNAI) CO.,Ltd.[Ho chiminh office]』が、右記住所に移転しました。社員一同、より一層業務に邁進する所存でございますので、何卒倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



ホーチミン事務所の概要

【新住所】49C Phan Dang Luu, Ward 7, Phu Nhuan District, Ho Chi Minh City, Vietnam
【TEL】(営業)+84-28-35101114
(設計)+84-28-35101959
【FAX】+84-28-35101909

VIETNAM
【TEL】+84-650-3782877
【FAX】+84-650-3782880

(DONG NAI) [Factory]
【TEL】+84-61-3936562
【FAX】+84-61-3936563

※VIETNAMと(DONGNAI) [Factory]は市外局番が変わっています。ご注意ください。

不要な消火器等を回収しています。

自社製品
以外でも
回収OK!

独自のリサイクルシステムを構築して環境問題に取り組んでいるヤマトプロテックでは、リサイクル率100%を目指して不要になった消火器等を回収しています。
耐用年数や使用期間を超えた消火器等があれば、お近くの当社事業所まで、気軽にご相談ください。



パッケージ型消火設備

<回収品目>

消火器各種、移動式粉末消火設備、パッケージ型消火設備など



業務用消火器

耐用年数
8~10年

住宅用消火器

使用期間
製造年月から
5年



移動式粉末消火設備

エアゾール式簡易消火具をお持ちの方は、
自主回収対象商品の廃棄処分にご協力ください。

新聞社告等でご案内させていただいておりましたが、エアゾール式簡易消火具の一部に、製造工程上の不具合を原因とする内部腐食の進行により、大きな音をとまなう破裂事故等が発生し、皆様には大変ご迷惑をおかけしておりますことを、深くお詫び申し上げます。
これまで皆様のご協力を得て自主回収を推進してまいりました。しかし、2017年で製造から15年が経過しておりますが、まだ消火具が残っている可能性があります。
事故防止のためにも回収・廃棄処分にぜひご協力をお願いいたします。

すでに全ての対象商品は
生産を中止しています。
品質保証期間も
過ぎていますので、
廃棄をお願いします。

【ヤマトボーイKT】

製造ロット番号	品質保証期間
K0331	2005.01
K0331	2005.02
KN326	2005.02
KD317	2005.03
K1426	2005.04
K2407	2005.05
K2420	2005.05
K3407	2005.06
K3419	2005.06
K4422	2005.07
K7424	2005.10

【FMボーイk】

製造ロット番号	品質保証期間
KN301	2005.02
KN322	2005.02
KD319	2005.03
K1425	2005.04
K2408	2005.05
K2421	2005.05
K3406	2005.06
K3418	2005.06
K4423	2005.07
K7425	2005.10

回収および廃棄率

約85%

対象商品をお持ちの方は、お客様
相談窓口までご連絡ください。

0120-801-084

【受付時間】
9:00~17:00(土日祝祭日を除く)



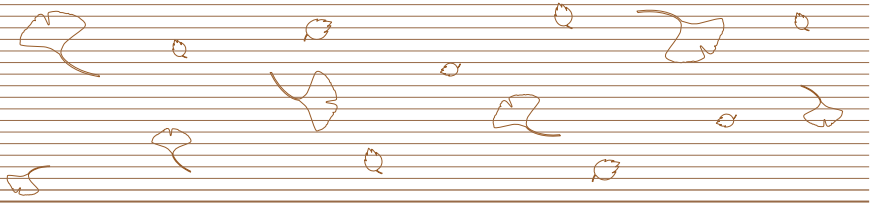
南 久美子の
ほっ!とワールド



PROFILE

京都市出身 京都市在住
笑いで心と身体を癒すユーモアセラピストとして各地で作品展・講演を開催中
*(公社)日本漫画家協会会員 NPO法人癒しのほっ代表 *著書「今日はいいいことありそうだ」(光村推古書院発行)など

*彼岸花には毒性があり、モグラやネズミが嫌うため、作物を守る目的で田んぼのあぜ道に植えたと言われています。



埼玉県 Sさん

いつも拝見していて、防災には関心を寄せています。今回の築地火災も古い建物で電動加熱とか……。狭くて古い密集地での火災は本当に怖いものがあります。たとえ古くても防災に関しては設備がしっかり設置されていることと、点検が必要ですね。

[編集室] どのような建物にも、最新の消火設備・防災対策を備えていただけるよう、私たちも防災対策の強化を推進していきます。

愛知県 Fさん

我が家にもミストがつけられるといいなー。「悠林舎シーズ」の記事を読んで……。災害はいつ起きるかわからないので、年齢を引き下げて訓練できることが素晴らしいですね。身体の不自由な方がどんな支援してほしいのか、訓練を重ねることで少しでもお手伝いができることを考えていきたいですね。

[編集室] 幼い子どもや高齢者、病気や怪我をしている方、身体が不自由な方など、すべての人々が安心して安全に暮らせる社会づくりのため、私たちにできることを提案し続けたいと考えています。

神奈川県 Hさん

「日本の防災と消防」は、災害の歴史を具体的に記述し、それに対する防災の対応例を書いてあり、毎回興味を持って読んでいます。また、まさに街中で起こった災害を足で調べ、文献で調べて書いてあるのでわかりやすいです。具体的な災害防止策の提案が欲しい!

[編集室] ご愛読ありがとうございます! 災害被害を最小限に抑えるための具体的な対策を提案できるよう、努力いたします。

京都府 Tさん

今まで消火器は「粉末」しかないと考えていました。確かに粉末ですと、ソファなどの内部までは消火できないですね。今回の記事で「強化液」消火器の必要性を知ることができました。飲食店に「住警器」を設置するのも火災の早期発見、被害減少にいいかもしれませんね!

[編集室] ささまざまな火災に対応できるよう、消火設備もたくさん種類を用意しています。粉末、強化液、機械泡、金属火災用、天ぷら油火災用、自動車用など、いろいろな消火器がありますので、設置場所に合ったものをお選びください。

滋賀県 Nさん

「全飲食店に消火器設置が義務化」の記事を読み、やっと義務化されたのかと少し安心しました。「小規模な飲食店であろうがなかろうが、火災の危険は同じなのでは」と常々思っていました。利用者が安心して食事ができるようになる第一歩として、これからも飲食店の安全対策を進めていく必要があるのではないのでしょうか。ひとたび火災が発生すれば、被害を受けるのはその店だけではないのです。例えば、近隣飲食店相互に火災を覚知できる仕組みをつくり、もし隣で火災が発生してもすぐ覚知できるようにすればどうでしょうか。相互に設置している消火器(粉末と強化液の併用設置がおすすめですね)で消火し、素早く避難誘導できることとなり、お客様に安心して利用してもらえるようになるのではないかと思います。

[編集室] 火を扱う飲食店での防火対策を充実させ、皆さんが安心して暮らせる街づくりに貢献できるよう努めていきます。

たくさんのおたよりお待ちしております!!

Yまがじんへのご意見ご感想や防火防災のひと工夫・体験談などをお寄せください。本誌に掲載させていただいた方に粗品をプレゼントいたします。P.18クイズ応募方法に記載している宛先へお送りください。



Quiz Y-Town

仲間はずれ

同じイラストを使い、それぞれ位置や角度を変えていますが、1つだけ異なるイラストが入った仲間はずれがあります。それは何番の絵でしょう?
(※印刷による汚れやカスレは違いには入りません)



応募方法

ハガキにクイズの答えと、住所・氏名・年齢・職業をご記入のうえ下記宛にお送りください。なお「答え」と一緒に本誌に関するご意見・ご感想もお寄せください。

●正解者の中から抽選で5人の方に記念品(住宅用火災警報器)を差し上げます。

〒108-0071
東京都港区白金台5-17-2
ヤマトプロテック株式会社
Yまがじん編集室Quiz Y-Town 係

※お送り頂きました個人情報につきましては、クイズの当選に関する対応以外には使用いたしません。

前号の当選者

- 埼玉県 S.Nさま
- 神奈川県 H.Mさま
- 愛知県 F.Tさま
- 滋賀県 N.Cさま
- 京都府 T.Tさま

前号の答え

D

クイズ切りは11月15日(当日消印有効)
正解は次号発表します。

編集室

吹風が心地よい日が多くなってきました。「実りの秋」は、美味しい食材に恵まれる「食欲の秋」でもあります。夏バテの反動なのか、つつい食べ過ぎてしまう日が増えているような気がします。美味しいご飯をたくさん食べながら健康をキープするため、適度な運動を心掛けたいものです。秋晴れの日を狙って、ハイキングなどに出かけるのもいいかもしれませんね。

